

## 研究発表会実施概要

1 日 時 平成17年5月11日(水) 16時～

2 場 所 100周年記念会館 第2会議室

### 3 内 容

(1) 研究発表(16:00～16:40)

・山住勝広 文学部教授

発表テーマ「人間活動の新たなデザインに挑む

－ 人間活動理論研究センターを創る－」

・村田忠彦 総合情報学部助教授

発表テーマ「政策グリッドコンピューティング実験センターによる

文理融合研究の推進」

(2) 質疑応答(16:40～17:00)

### 4 大学側出席者

河田悌一学長、広兼道幸学長補佐、山住勝広文学部教授、村田忠彦総合情報学部助教授、藤本清高広報課長、他

### 5 参考資料

(1) メキシコ・モレロス州立自治大学との協定調印式について(KU EXPRESS 2)

(2) 杜正勝・台湾教育部部長(教育大臣)への名誉博士称号贈呈式および記念講演会開催

(3) 文学部学術講演会

(4) 人権を考える 2005年度春季人権啓発行事

(5) 経済・政治研究所 第167回産業セミナー

(6) 人権問題研究室 第41回公開講座

(7) 日経BPムック「変革する大学シリーズ」 関西大学 2005-2006年版

以 上

## 【研究発表のテーマと概要】

### 人間活動の新たなデザインに挑む —人間活動理論研究センターを創る—

文学部教授 山住 勝広

「人間活動理論研究センター」(Center for Human Activity Theory: 略称 CHAT)は、2005 年度文部科学省「学術フロンティア推進事業」に選定され、5 年間にわたる共同研究プロジェクト「革新的学習と教育システム開発の国際共同研究—人間活動理論の創成—」を開始した。CHAT は、学校やコミュニティ、医療、情報産業、銀行など、さまざまな知的労働分野の社会組織において、革新的な学習と教育システム開発に挑むものである。そこでは、学校など教育機関、コミュニティ機関、知的労働分野の仕事や組織における教育と学習の実践を通し、人間活動の新しいシステムとネットワークのデザインがめざされる。本発表では、「学び合うコミュニティ」、「発展的な学びのネットワーク」、「ハイブリッドな活動システム」、「多様なメディアによるコミュニケーション」、「インターエージェンシー」といったコンセプトから、人間活動の新たな革新性・創造性・協働性に光を投げかけていく、CHAT の構想を提起させていただきたいと考えている。

### 政策グリッドコンピューティング実験センターによる文理融合研究の推進

総合情報学部助教授 村田 忠彦

政策グリッドコンピューティング実験センター（PGラボ）では、政策や経営戦略の立案を支援する社会シミュレーションシステムを構築する。社会シミュレーションとは、ある政策や戦略の効果をシミュレーションにより予測する研究であるが、国内外の研究のほとんどは、シミュレーションを実現するための計算環境やプログラムの開発に注意が向けられている。そこで、PGラボでは、経済学、政治学の研究者と共に吹田市、NPO 法人の協力を得て、より現実的な社会シミュレーションモデルを構築する。また、複数のコンピュータをネットワークで結んで計算能力を大幅に向上させるグリッドコンピューティングの研究者を富士通研究所、大阪大学、九州大学、東京工業大学から迎え、コストとスピードをバランスさせたシステムを開発する。すなわち、コスト重視のシステムから、スピード重視のシステムまで幅広いニーズにあわせた社会シミュレーションシステムの開発に取り組む。コスト重視のシステムは、既存のネットワークで結ばれた現有コンピュータを用いるため、中小企業や地方自治体、発展途上国さらには予算面での制約の高い国際機関への導入が可能となる。一方、スピード重視のシステムは、世界最高速レベルのネットワークであるスーパーSINET で結ばれた計算資源を用いることにより、国家レベルの緊急事態のシミュレーションに対応可能となる。このように、PGラボは、文理融合の研究成果を様々なシーンへ社会還元することを目的として、研究を推進する。